



秋元病院だより

00029 2007年6月号

発行 医療法人梨香会秋元病院
〒273-0121 千葉県鎌ヶ谷市初富 808-54
TEL 047-446-8100
FAX 047-446-8101
<http://www.akimoto-hospital.com>

基本理念

患者様のために家族や仲間たちのために己のために
地球のために未来のために子供たちのために
私たち梨香会の職員は日々学び、『We are a family』の精神で医療を提供し夢のある健康社会の実現に向けて貢献して参ります。

基本方針

- 1.精神疾患及び その身体的管理の治療に日々精進する
- 2.早期社会復帰への支援活動に日々精進する
- 3.疾病予防対策を重んじた活動に日々精進する



作業療法、アートセラピー、精神・アルコールデイケア作品



外来待合室に展示中

アルコール家族会のご案内

毎月第1土曜日の午後2時より行っております。

日頃のご家族様の思いを心おきなく語っていただける場にしたいと心がけております。

5月はプログラムの前半で、AAメッセージをご本人様と一緒に聞いていただき大変好評でした。

6月は竹内先生のお話を予定しております。これからもプログラムの内容を工夫し、皆様のお気持ちにフィットするような会にしていきたいと考えております。

ライフ病棟 片平 春枝

アルコール家族会

6月2日(土)

14時～17時

新棟4階

精神家族会

6月16日(土)

14時～17時

新棟4階



「心身症」について

精神科医 田中 良恵

診療に従事している中、最近特に気がかりなことがある。身体の不調を訴える人が以前に比べてこの1年間(2006年4月～2007年4月)急激に増えているのである。成人したばかりの若年層から高齢層まで、さらに「身体がおかしい」と感じる患者の低年齢化も進んでいる。

例をあげると、「食事が全く入らない、無理に食べると吐いてしまう」「急な下痢、めまいなどに襲われる」「買い物に行って帰ってくるだけで胸が苦しくてドキドキする、その後の料理なんてとても...」「毎月経時の出血量が多くて貧血寸前」「每晚、会社から帰ると頭痛がひどくてすぐに寝込んでしまって家族との会話もできない」など。しかもこれらの患者の大半は内科、産婦人科、耳鼻科などの身体科で然るべき精査加療を受けているにもかかわらず、症状は続いているのである。「ストレス社会だから、身体の不具合がどこかしら出てくるのも仕方ない」では済まされず、私自身は「このままでは人間の寿命は年々短くなっていってしまうのでは?」と懸念しているほどである。

「心身症 (psychosomatic diseases) 」という病名をご存知だろうか? 日本心身医学会及び米国科学アカデミーにおいて定義されている内容を簡単に述べると、「身体症状を主とするが、その発症や経過に心理社会的因子が密接に関与し、器質的ないし機能的障害が認められる病態。その診断や治療に心理的因子についての配慮が特に重要な意味を持つもの」となっている。

意外に思われるかもしれないが、呼吸器系では気管支喘息、循環器系では本態性高血圧や起立性低血圧、消化器系では潰瘍や過敏性腸症候群、神経・筋肉系では片頭痛、内分泌・代謝系では肥満、耳鼻咽喉科系ではめまい、耳鳴り、心因難聴、眼科系では眼精疲労、歯科・口腔科系では顎関節症、三叉神経痛、その他にもたくさんあるが、これら全てが「心身症及びその周辺疾患」と認識されており、心身医学的な配慮が必要な疾患なのである。

これらもちろん、真に身体機能のどこかが不具合で、各々専門分野の身体的加療により軽快する場合もあるが、症状が長引いている場合、身体面と精神面の両方からの治療を要する。またその両面からのアプローチのバランスの良さが結局は身体症状の軽快をもたらすことが多い。

この場合、精神科での治療は、表面に出ている身体症状に背景に隠れている心の緊張、不安などの程度に応じて、安定剤、その他の薬を調整する。同時に、気づかないうちに無理してなかったか、負荷をかけてきていなかったかと日常生活、周囲の環境を見直していただき、心身共に余裕のある生活に変えていくように指導する。私の外来では、たったこれだけで、長期間悩まされていた症状があっという間に改善してしまった例も多い。

心と身体は密接につながっているもの。そして身体は心よりも正直。身体の発するサインを見逃さず、気づいたら早めに自分自身の生活を見直してほしい。そして自分だけで対処できない場合は迷わず相談してほしい。



精神ケア 利野 清

去る4月21日定例の精神科家族会が行われました。当院理事長秋元豊の挨拶に始まり、引き続いて「回復者の声」と題し、体験談のスピーチをしていただきました。貴重な体験談の後の質疑応答では活発なやりとりで耳を傾ける参加者の方たちの姿が印象的でした。後半は恒例の参加者同士の交流の時間。お互いの状況や現状に対する不安、これからの希望が飛び交い活気ある一時間となりました。

せっかくの土曜日の貴重な時間を家族会にご協力いただいている方のためにもスタッフ一同少しでも多くの方に満足頂けるよう協力し合っていきたいと考えております。終了後のアンケートで一番多かった内容は当院職員の話をもっと・・・ということでした。今後の参考にさせていただきます。

Song of Akimoto ~耳をすます~をあなたに

相談室 石川 寛司

去年の秋、「企業には色々な社歌がある。病院は企業とは違うが、石川！秋元病院の歌を作ってみないか？」と1冊の本(社歌集)を院長から頂く。まだ私が秋元クリニックにいた頃でした。なかなか思うようにはかかない日々が続きましたが、そうこうしているうちに、12月16日から本院にくることになり、ある日の朝礼で、「私たちは、日々、苦しんでいるのに、思うように口に出せない患者さんのそばにいる。にもかかわらず、健康な人間の常だが、彼らの言葉にならない心の中の、声なき声を聞く感受性にかける。もっと感性を磨いて、患者さんの、そしてなにより大事なことだが、自分自身の心の中の、声なき声を聞くように。」という院長のメッセージを聞かせて頂きました。その時、書くのならこれだ。病院の名を連呼するような歌ではなく、もっとさりげなく、聞く人に、大切なメッセージが伝わるような、そんな歌を作ろうと思い立ったのです。

文章の専門家が読んだら、「なんだ。この詩は。」と言うような代物ですが、それから1週間たった頃、詩は完成しました。それを今年の正月、我が家に遊びにきていた長女の連れ合いに見せました。彼は、今は辞めたのですが、長い間、不登校の生徒たちと先生として関わっていたからでしょうか、そして、高校と大学時代にバンド部に所属したということもあったからでしょうか、「僕が作曲しましょうか。」と、快く引き受けてくれました。1月23日の私の62歳の誕生日までという条件で。そして約束どおり、誕生日の2日前、テープに吹き込んで、楽譜と共に、自宅に届けてくれました。それを聞き、覚えて、1月23日、朝礼で、丁度、相談室の3分間スピーチの時間に歌わせて頂きました。

それから、数ヶ月たった4月の後半、60名くらいが集まってくれた、「サラのコンサート」でサラが歌ってくれました。私たちの作った歌を、別な人が歌ってくれて、それを聞くという機会はめったに無いことで、素直に感動しました。とても嬉しく、ひそかに晴れがましい気持ちで一杯でした。この歌を、なにかの機会に皆さんと歌えるといいなと思います。



耳をすます あなたの中に生きています 声なき声に耳をすます

耳をすます あなたの心に耳をすます 傷ついた心 あきらめかけた夢に耳をすます

そう 耳をすませば 聞こえてくるもの 鳥のさえずり 花たちの声 川の流れ 波の音 そして 友達の声

耳をすます 私のところに耳をすます.....

耳をすます 仲間のところに耳をすます.....

そう耳をすませば聞こえてくるもの、.....「夢と勇気と豊かさの声」聞こえるでしょう。そう.....

「We are a family」のメッセージ

一緒に歌いませんか。



自助グループ

「GA千葉グループ」(ギャンブル依存症)

【日時】 毎週日曜日 10:00~11:30 オープンミーティング

【会場】 市川市八幡市民談話室 4F or 5F 集会室

GAとは

ギャンブラーズ・アノニマス(Gamblers Anonymous)の略。

ギャンブル依存症からの回復を目指す人たちのための自助グループ。

依存症者本人のみが参加するクローズドミーティングと家族や友人も参加できるオープンミーティングとがある。

外来診療体制表

H19.5.18 現在

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科	田中(良) 安東 太田	北林 小林	林 安野 明石	明石	五木田 竹内 (第3) 安東	安野 北林	林 太田	小林	林 森(秀) (第2.3.4.5)	安東 森(秀) (第2.3.4.5)	山本 小林 竹内(第1)	北林 小林
心療内科		小林						小林			小林	
内科	篠崎 米谷 葛谷 渡辺	篠崎 米谷 渡辺	篠崎 葛谷	米谷	財津	米谷 財津 平泉 (第1.3.5)	篠崎 米谷 財津	財津	米谷 財津 平泉 (第1.3.5)	河本 菅野	河本 金子 (第1.3.5) 財津	河本 金子 (第1.3.5)
内視鏡	葛谷		葛谷(午前のみ)		石丸							
整形外科			川北									
皮膚科			田中(10:00~17:00)									
歯科	庄司(要予約)		庄司(要予約)		庄司(要予約)		庄司(要予約)		篠塚(要予約)		富田(要予約)	

診療体制が都合により変更する場合がありますので、来院される際はご確認をお願いします。

女性医師: 田中Dr(精神科) 金子Dr(内科) 庄司Dr(歯科) 富田Dr(歯科) 田中Dr(皮膚科) 太田Dr(精神科)

病院概要

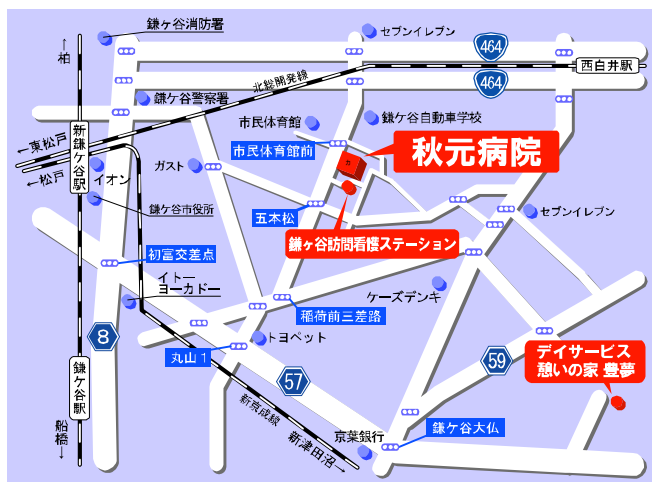
- 診療科目** 精神科/神経科/ 心療内科/内科/ 整形外科/リハビリテーション科/放射線科/ 皮膚科/歯科 **曜日指定有り**
- 許可病床数** 精神科 285 床/内科 70 床
- 診療日時** 月曜日～土曜日 午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00 (日曜日・祝祭日は休診、但し急患は随時受付)

承認施設基準

薬剤管理指導/看護補助加算 /精神科ケア(大規模)/特別の療養環境の提供/入院時食事療養()/運動器リハビリテーション / 一般病棟 15 対 1 入院基本料/精神科病棟 18 対 1 入院基本料/重症者等療養環境加算/精神科作業療法/居宅療養管理指導/栄養管理実施加算 医療保護入院等診療料/初診電子化加算

看護に関する事項

- 内科病棟 看護職員 1 人当たり受け持ち入院患者 15 人以内と入院患者 6 人毎に看護補助 1 人で構成
- 精神科病棟 看護職員 1 人当たり受け持ち入院患者 18 人以内と入院患者 6 人毎に看護補助 1 人で構成



送迎バス時刻表

【新京成線】初富駅(大正堂薬局前)
【東武野田線】鎌ヶ谷駅(東口ロータリー)経由

【新京成線・東武野田線・北総線】
新鎌ヶ谷駅経由
【北側交通広場】

秋元病院発	初富駅発	鎌ヶ谷駅発	秋元病院着
8:10	8:20	8:30	8:40
9:05	9:15	9:20	9:30
9:25	9:35	9:40	9:50
9:55	10:05	10:10	10:20
10:25	10:35	10:40	10:50
10:55	11:05	11:10	11:20
11:25	11:35	11:40	11:50
11:55	12:05	12:10	12:20
12:45	12:55	13:00	13:10
13:25	13:35	13:40	13:50
13:55	14:05	14:10	14:20
14:25	14:35	14:40	14:50
14:55	15:05	15:10	15:20
15:25	15:35	15:40	15:50
15:45	15:55	16:00	16:10
16:25	16:35	16:40	16:50
17:20			

秋元病院発	新鎌ヶ谷駅発	秋元病院着
8:30	8:40	8:50
9:00	9:10	9:20
9:35	9:45	9:55
10:05	10:15	10:25
10:35	10:45	10:55
11:05	11:15	11:25
11:35	11:45	11:55
12:05	12:15	12:25
13:05	13:15	13:25
13:35	13:45	13:55
14:05	14:15	14:25
14:35	14:45	14:55
15:05	15:15	15:25
15:35	15:45	15:55
16:05	16:15	16:25
16:35	16:45	16:55
17:20	17:30	17:40

医療法人梨香会 秋元病院

〒273-0121
千葉県鎌ヶ谷市初富 808-54
TEL047-446-8100 FAX047-446-8101
http://www.akimoto-hospital.com
Email:info@akimoto-hospital.com

北松戸メディカルクリニック
〒271-0064
千葉県松戸市上本郷 2202-3
047-365-7731

鎌ヶ谷訪問看護ステーション・ヘルパーステーション鎌ヶ谷
居宅介護支援事業所・デイケア 憩いの家 ゆたか
〒273-0121
千葉県鎌ヶ谷市初富 848-103
047-445-2402

秋元クリニック
〒273-0002
千葉県船橋市東船橋 3-33-3 2F
047-422-0221

デイサービス 憩いの家 豊夢
〒274-0807
千葉県船橋市咲が丘 4-2-1
047-440-2081

北松戸訪問看護ステーション・ヘルパーステーション北松戸
居宅介護支援事業所
〒273-0064
千葉県松戸市上本郷 2089
047-364-1712

第 29 号 平成 19 年 6 月発行 / 次号 H19.7 月

編集 / 医療連携局 渉外部

後記 : 5 月 12 日「看護の日」に千葉県より表彰をいただきました。

「看護功労者表彰 秋元病院 マザー病棟 師長 沖山洋子 殿」おめでとうございます。